

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成28年10月25日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし
 区分Ⅱ： 該当なし
 区分Ⅲ： 該当なし
 その他： 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	1・2号機サービス建屋地下2階電気温水ボイラー室と管理区域との境界扉において、施錠状態等の確認作業をした扉が「解錠」状態であることが認められたため、原因調査・対策検討。	GⅡ	
2	3号機	補機冷却海水系廃棄物処理補機冷却系熱交換器電解鉄イオン供給母管排水弁において、動作不良(全閉から1/4回転しか開かない)が認められたため、当該排水弁を点検・修理。	GⅢ	
3	3号機	原子炉建屋換気空調系排気ファン(B)ファン反軸継手側軸受け潤滑油液位計において、液位計カバーの窓下部より微量の油の漏えい認められたため、当該液位計を点検・修理。	GⅢ	
4	3・4号廃棄物処理設備	3号高電導度廃液系及び使用済樹脂系受タンク液位記録計において、印字不良(滲み及び打点色が変わる)が認められたため、当該記録計を点検・修理。	GⅢ	
5	その他	一次水処理設備モノベツポリッシャー(混床イオン交換樹脂)混合空気貯槽圧力検出スイッチ(A)及び(B)において、動作不良(空気貯槽の圧力が警報設定値まで降下したにもかかわらず警報が発生しない)が認められたため、当該圧力検出スイッチを点検・修理。	GⅢ	